

# 令和元年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	ぶどう「サニールージュ」の早期ジベレリン処理による省力・熟期前進効果		
[要約] ぶどう品種「サニールージュ」は早期ジベレリン処理により慣行と比較して花穂が伸長し、摘粒作業時間が約2割削減でき、熟期が早まる。					
キーワード	ぶどう	ジベレリン処理	省力化	園芸技術研究部 果樹研究室	

## 1 背景とねらい

ぶどう品種「サニールージュ」は食味良好な赤色品種として平成16年度に岩手県の奨励品種となっている。「サニールージュ」は果粒が密着するため摘粒作業が必要であるが、多くの労力を要するとともに作業時期が限られており、より省力化が求められている。

植物成長調節剤であるジベレリン（以下、GA）を満開予定14日前に処理（本成果では早期処理）することで花穂を伸長させ、摘粒作業の省力効果について検討する。

## 2 成果の内容

- (1) 満開予定14日前（目安：展葉8枚前後または花穂長7cm前後）にGA25ppmにホルクロルフエニユロン（商品名：フルメット液剤）3ppmを加用して処理（早期処理）することで、慣行と比較して花穂が伸長する（表1、表2、図1、図2）。
- (2) 早期処理により摘粒作業時間が約2割削減できる（表3）。
- (3) 早期処理により慣行と比較して熟期が早まる（表4）。

## 3 成果活用上の留意事項

- (1) 本試験は、露地の改良マンソン仕立てにおいて、新梢を18本/3.3㎡、着房数を0.9房/新梢、満開期に花穂を先端7cm程度に調整し、摘粒後の7月中旬に被袋（白色袋）した。
- (2) 早期処理の目安には、園地の平均葉数または平均第1花穂長を用いる。
- (3) その年の気候により早期処理の熟期前進効果が得られない場合がある。
- (4) 早期処理により果粒が大きくなる傾向があるため、花穂整形後の花穂長が長くならないように注意し、摘粒作業は遅れずに実施する。

## 4 成果の活用方法等

### (1) 適用地帯又は対象者等

ア 適用地帯：県内ぶどう生産地帯

イ 対象者等：ぶどう生産者および栽培指導者

### (2) 期待する活用効果

ア 「サニールージュ」の摘粒作業の省力化が図られる。

イ 技術導入面積 2ha（5年後）

## 5 当該事項に係る試験研究課題

(H30-17) 生食用ぶどう品種の育成・選抜と栽培技術の確立 [H30~R4/県単]

## 6 研究担当者

西田 絵梨香、大野 浩

## 7 参考資料・文献

- (1) 平成16年度岩手県農業研究センター試験研究成果「ぶどう 品種 食味良好な紫赤系品種「サニールージュ」
- (2) 平成20年度岩手県農業研究センター試験研究成果「出荷規格L(350g)を目標としたぶどう品種「サニールージュ」の花穂整形と摘粒」
- (3) 平成27年~30年度 岩手県農業研究センター果樹試験成績書

## 8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 GA 早期処理方法

	満開予定 14 日前	満開～3 日後	満開 10～15 日後
早期処理区	GA 25ppm + F 3ppm	—	GA 25ppm
慣行区	—	GA 25ppm	GA 25ppm

※GA：ジベレリン、F：ホルクロールフェニユロン（商品名：フルメット液剤）  
※すべて花・果房浸漬処理

表2 GA 早期処理時の葉数と花穂長

	処理 時 の葉 数	満開ま で の日数	開花前花穂長	
			(cm)	(慣行比)
2015	8.2	15	16.8	150%
2016	8.1	15	13.4	134%
2017	8.9	19	15.1	141%
2018	7.5	17	17.1	182%
2019	10.4	10	11.2	119%
平均	8.6	14.7	14.6	145%

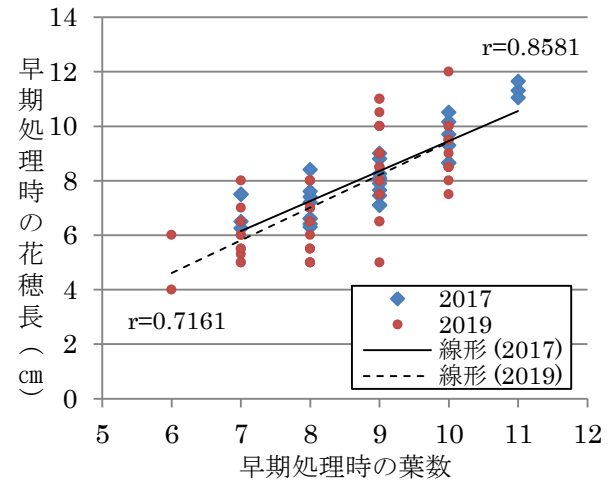
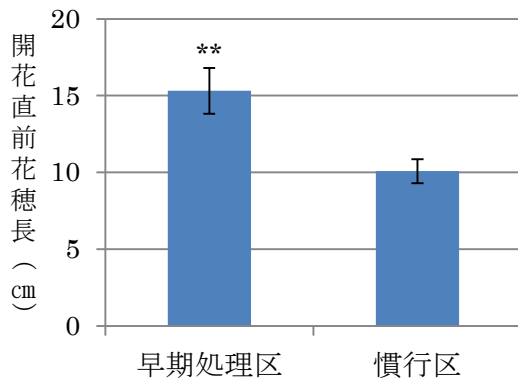


図1 早期処理時の葉数と花穂長の関係  
(2017年 n=31、2019年 n=69)



(2015～2019 の平均)  
※\*\*は t 検定により 1%水準で有意差あり

表3 着粒数および摘粒作業時間比 (2017)

	着粒数 (粒)	摘粒作業時間	
		(10 房)	(慣行比)
早期処理区	53.7	5 分 22 秒	77.2%
慣行区	64.3	6 分 57 秒	100%

※摘粒目安：50 粒/房

図2 GA 早期処理が花穂長に与える影響

表4 収穫時の果実品質 (2015～2019 年の平均±標準偏差)

収穫日	房重 (g)	粒重 (g)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)	果皮色 (CC 指数)	
早期処理区	8/21±9.4	380.2±65.4	7.4±0.7	17.0±1.2	0.54±0.11	5.5±0.7
慣行区	8/25±7.5	330.4±54.2	6.8±0.7	17.6±0.7	0.61±0.13	5.7±0.8

※果皮色：農林水産省果樹試験場基準果実カラーチャート ブドウ 赤・紫・黒色系